

平成28年度 安茂里幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

「園児一人ひとりの自己肯定感を高める」

2. 本年度の重点目標

遊んで知育：元気な挨拶・異年齢活動を通して社会性と思いやりのある優しい子を育てる

育てて食育：農園で野菜づくり、調理をすることを通して食への関心を高め、たくましい体と心を育てる

歩いて体育：基本的な生活習慣の確立を援助し、自立・自主性や忍耐力を伸ばす

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	B
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・小規模園で園児一人ひとりに目が行き届く環境(園児人数・クラス人数が適切)は園の特色として保持してほしい
- ・小学校に入学後も園で学んだ基本的な生活習慣(挨拶・聴く姿勢・食育)が活かされており、幼稚園から小学校生活への移行がスムーズに行われていることに、改めて幼稚園での教育方針を評価したい
- ・将来的にも各学年が2クラス編制で運営ができるように園募集を園に任せるだけでなく、職場・近隣の方々にも園の情報を伝え支援していくことが必要
- ・保育園と幼稚園の違いを明確に伝えることは、入園選択に影響があるので、アピールしていくことは必要

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・保護者アンケート、モニター会員の要望から、教育方針「園児一人ひとりの自己肯定感を高める」を大切に、職員と園児の関わりをより深めてほしい
- ・遊びを通して園児主体の活動(アクティブ・ラーニング)を大切に園運営に当たっていくことを職員の共通理解して支援
- ・お楽しみ発表会での園児演技を見て、1年間のわが子の成長ぶりを実感できたという保護者の声から、教育目標の方向性は今後も継続していきたい。今後は「みんなでできる ひとりでできる」を合言葉に、教育方針の成果を深めていきたい